




プロフィール

<small>さくひん</small> 作品の名前	いろえ きんもり どうぶつもん 色絵 金盛 動物文 ゲームセット	<small>うらがわ</small> 裏側についているマーク
<small>ねんだい</small> 作られた年代	1911年～1921年(今から100～110年くらい前)	
<small>ばしょ</small> 作られた場所	日本	
<small>ばしょ</small> 売っていた場所	アメリカ	

ゲームセットという名前がついていますが、コンピューターゲームのことではありません。



ここで
Question!
クエスチョン

q.1 どんな動物がいるかな？

q.2 大きなお皿は1枚。小さなお皿は何枚あるかな？

A.1 ^{しか}鹿、^{うさぎ}うさぎ、^鳥鳥、^{キツネ}キツネ

みんな森にすんでいます。共通点は、狩りのえも^{きょうつてん}のだったことです。

A.2 ^さ小さいお皿は8枚^{まい}

ですが、見比べると同じ絵が2枚あるお皿もあります。本当は、すべて2枚ずつあったのかもしれませんが。



「ゲームセット」の由来は、

ヨーロッパの貴族が、狩りをするときに使う城にかざっていた食器。

狩りでつかまえたえものを大きな皿に置いて、みんなで取り分けて食べる、というシーンが思いかぶようですね。このような食器のセットがヨーロッパで作られていました。この作品が作られたころのアメリカでは、ヨーロッパのものは高級品でした。森村組とモリムラブラザーズは、ヨーロッパ製品に似ているものを作り、ふつうの家庭でも買うことができる値段で売っていました。

ヨーロッパのものを見本にして、工夫していたよ。



「ちょっと耳よりエピソード⑩」

どんな人が買っていたの？

アメリカには、他の国からたくさんの方が移り住みました。人びとは、住むところや食べるもの、着るものなどの生活に必要なものが十分にそろい、ふつうの暮らしができるようになると、次に文化が欲しいと思うようになりました。そこでいいなと思ったのが、ヨーロッパの文化でした。モリムラブラザーズでは、ヨーロッパの製品にあこがれる人たちのため、このような陶磁器を売っていました。

※文化とは、音楽やファッション、食事や遊びなど、人がつくった楽しみや考え方のことです。今、マンガやアニメが日本の文化として有名ですね。



ゲームセットのつりバージョンもあります。これは「フィッシュセット」と呼ばれ、魚がかいてあります。

「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。